

ふたたび海を渡る橋。

BRIDGE

上映会/トークイベント

橋の製作に関わった
エンジニア、デザイナー、
メーカー、コンストラクター、行政、
そして長崎の人たちの言葉と風景。
そこから紡ぎだされる未来とは。

「BRIDGE」は、

出島表門橋の製作過程と設計者の軌跡を辿りながら記録したドキュメンタリー。

2050年出島完全復元を目指し、1951年から始まった出島復元整備事業。2017年11月24日出島表門橋が完成。鎖国時代に日本と西洋を結ぶ唯一の窓口であった出島と長崎のまちが、再びつながった。2017年2月27日午前10時、架橋の日。約130年という歳月を経て、再び新しい橋が海を越えてやってきた。5,000人を超える市民が架橋を見守り、出島の歴史に残る日となった。橋の建設が社会にもたらす意味、現代の構造物は文化になり得るのか。

監督|岩本健太 音楽|ENA

日時

平成30年**6月28日** 木

14:00|開場 14:15|上映 15:20|トークショー 16:20|終了

会場

金沢21世紀美術館 シアター21(B1F)

石川県金沢市広坂1丁目2-1 TEL.076-220-2800

入場料

¥1,000円(中学生以上・税込) 定員150名

問合せ

協同組合土質屋北陸 金沢市示野町西7 担当|森川 090-4682-3456

TEL.076-268-4666 | FAX.076-268-4510

※ チケットの販売・お問い合わせは「土質屋北陸」までお問い合わせください。



緊急!

岩本健太 監督

スペシャルゲスト決定!

渡邊 竜一氏 | 1976年 山梨県生まれ
橋梁を中心とした土木構造物の設計、民間メーカーとのプロダクトデザインなど構造(技術)的アイデアを軸に、デザインと構造が融合した切り口の提案を行っている。国内でのプロジェクトは、札幌路面電車停留所、三角港キャノピー、長崎駅前広場、出島表門橋、鉄道駅舎、ペDESTリアンデッキ、製品開発(キャノピー、標識柱、ストリートファニチャー)、ジャパンハウスロンドン階段(構造設計)など。
株式会社ネイ&パートナーズジャパン代表取締役 | 法政大学専任講師



主催 |  協同組合土質屋北陸

後援 | 北國新聞社 MRO北陸放送

2018.05.02